

2年生

お話

クリモモの森⑥

時間
15分

点数
クリア40点

/50点

□□のお話②

「今日はみんな、ようじがあるんだって」

でも、それはウソです。

口口は、リツちゃん、レルちゃん、フートくんと、あつめたどんぐりを「どんぐりそっこ」にはこびました。

そして、どんぐりをそっこに入れるとすぐ、

「じゃあ、オレは行くからな！」

いつしょにどんぐりあつめをしたフートくんが、まっ先に走つて行きました。フートくんはこれから、ギョギョの池に魚をつりに行くのです。

「ねえ、広場にいかない？」

リツちゃんがいいました。広場は、やわらかな草でおおわれたあそび場です。ここから、それほど遠くはありません。
(1)

「うん、いいよ」

レルちゃんはそう答えたけど、

「読みたい本があるの、ごめんね」
(2)

口口はことわりました。

朝、口口が家を出るときに、ぐあいのわるそだつたお母さんのことが、心ぱいだつたからです。

口口が本好きなことは、リツちゃんもレルちゃんも知っています。二人は「そつかー」「じゃあ、またあしたね」といつて、広場の方へ楽しそうに走つて行きました。

二人のすがたが見えなくなると、口口はむねのおくが、ぎゅつと
くるしくなりました。

「お母さんのぐあいがわるそうなの、心ぱいだからお家にいたいの」
と、二人には、そういうふかつたのです。

ですが口口は、本当のことをいうと、一人を心ぱいな気もちにさせ
てしまうそうで、ついウソをついてしまつたのです。

大切なお友だちに、ウソをついてしまつた。

だから口口は、むねのおくが、くるしくなつたのです。

口口は小さいころから、「こわい」とか「心ぱい」とか、そういうふた
『氣分』⁽³⁾がとてもいやなのです。きらいなのです。

自分がきらいだから、ほかのだれかにも、そんな気分になつてほし
くない。そんな気もちにさせたくない。

だからお母さんにも、

『みんなとあそばない自分、二人にウソをついた自分』⁽⁴⁾を知られた
くなくて、知られるとお母さんが心ぱいしそうで、お母さんにまでウソ
をついてしまつたのです。

口口は自分でも、「ウソは良くない」と思つています。

ウソをつくと、むねがくるしくなるのです。いやなのです。
では、どうすればよかつたのでしょうか？

口口には、それがわからないのでした。

口口のお話「おわり」 レルのお話①につづく

お話：みそにやch（みそぱぱ）



1

お話を、声に出して読んでみよつ [10点]

2

お話を読んで、問だいに答えよつ [1つ10点]

(1)

①――「から、それほど遠くはありません：とあります、
「」とは、のじとですか？」

() () ()

(2)

②――「読みたい本があるの、「めんね」…とあります、
それは本當ですか？ それとも、ウソですか？」

() () ()

(3)

③――口はむねのおぐが、きゅうとくるしなりました…とあります、
それはなぜでしょう？」

() () ()

(4)

④――口には、それがわからないのでした…とあります、
口は、どうすればよかつたと思いますか？」

() () ()

